

## 整備作業進捗状況(2004年9月)

実施項目		実績(9月)	予定(10月)
旧核燃料試験施設整備	1. 試験設備の解体・撤去	(完了)	
	2. F棟、S棟の整備及び保管	一部を新保管庫へ移動、残りを引き続き保管	残りを引き続き保管
	3. 施設E及びP建屋内除染	(完了)	
	4. 土壌等建屋周辺物の撤去及び保管	施設Eの管理区域内にて汚染土壌の回収作業を実施。施設Eの管理区域解除済地区に残っている基礎部分などの撤去作業及び汚染確認を実施。回収した汚染土壌の安定化作業を実施、安定化済土壌を引き続き保管	同左
	5. 施設E及びPの解体・撤去	(完了)	
	6. 周辺環境モニタリング	空間線量当量率及び空気中の放射能濃度の測定、並びに地下水中のウラン濃度分析を実施	同左
	7. 新保管庫建設及び放射性廃棄物の保管	搬入済の放射性廃棄物を保管	同左
	8. その他	放射性廃棄物の量は、9月30日現在、200リットルドラム缶約145本、1.5m <sup>3</sup> 角型容器約2,570個、2m <sup>3</sup> 角型容器約820個(注参照)。本館床下から発見された放射性物質の特定、汚染除去作業などを実施	液体廃棄物の保管などに関する使用許可変更申請手続きを実施
所内全域調査	1. 所内全域の空間線量当量率測定	準備作業(測定点図作成)、引き続いて測定作業を実施	測定作業を実施
	2. 既存コアの放射線測定		準備作業(コア整理)、引き続いて測定作業を実施
	3. ボーリング調査		北西地区にて準備作業(草刈、測量)を実施
	4. 土壌のウラン・トリウム分析		

注) 放射性廃棄物量を200リットルドラム缶換算で表示しますと、全体で約26,900本となります。なお、NDC社の放射性廃棄物量は、1.5m<sup>3</sup>角型容器で1,180個(200リットルドラム缶換算8,850本)です。